

第31回

日本プライマリ・ケア学会学術会議 2008岡山

メインテーマ

～いのち 健康支援から看取りまで～

市民公開講座

平成20年

6/13 金

14:00～15:30

—会場—

岡山コンベンションセンター

第1会場 (3Fコンベンションホール)

岡山市駅元町14-1

TEL.086-214-1000 FAX.086-214-3600

「最後まで尊厳をもって生きるために」

講師／さわやか福祉財団理事長 堀田 力 先生

主催／日本プライマリ・ケア学会 岡山県医師会

クイズのようで
恐縮ですが

次の問いに対する
答えはなんでしょう。

- 疾病を治療する目的は何ですか。
- なぜ身体の自立が必要なのでしょう。
- 健康回復の見込みのない人を支える目標は何ですか。
- 入院や施設入所よりも在宅を重んじる理由は何でしょうか。
- 個別ケア、医療と福祉などの連携、地域包括支援センター、小規模多機能型居宅介護、地域密着型〇〇などは、何を指すのでしょうか。
- 認知症の人を支える理念は何ですか。
- 福祉分野のボランティアは、何をもちて喜びとしているのでしょうか。

答えは、ご想像のとおり、「**尊厳ある暮らしの実現**」です。

では、「尊厳」とは、何ですか。

どのように、尊厳を把握すればよいのでしょうか。

誰が、どう判断するのですか。特に、認知症の方の場合、どうしますか。

そもそも、尊厳を支えるとは、具体的にどうすることなのでしょう。

ここまで詰めてくると、答えは難しくなります。一律ではないからです。

しかし、現場では、毎日、どこでも、この問いにぶつかっています。難しいといって逃げることは許されません。

世界人権宣言でも、二つの人権規約でも、すべての人々について最初に尊重されるべきものと規定されている

「尊厳」—この人類共有の崇高な理念を、日常の場でどう具体化するか—私たちの医療も福祉も教育も助け合

いも、その課題を達成してはじめて本物になると言えるでしょう。

事務局

〒703-8278 岡山市古京町1丁目1番10-602号 岡山県医師会内

第31回日本プライマリ・ケア学会学術会議2008岡山事務局 担当：深田・山口

TEL.086-272-0521 FAX.086-272-0522 E-mail: pc2008@po.okayama.med.or.jp